

2015 年度（第 5 事業年度）

# 「事業報告書」

一般財団法人 Ruby アソシエーション

## 1 事業の概要

2015年度の当財団の活動は、Ruby 安定版保守業務の継続やコミュニティ向けのイベント主催など既存事業を引き続き実施しました。また 2014 年度から実施している Ruby Association Certified Ruby Programmer version 2.1 に対して受験者にとってより試験を受けやすい環境を構築することを目指し様々な取り組みを行いました。

当財団は、その目的である Ruby 関連のプロジェクトやコミュニティ、ビジネスの関係をより良好なものとし（「Ruby Eco System」の構築）、ビジネス分野における Ruby の利用に関する諸課題の解決に取り組みました。

本書では当財団の 2015 年度の実施状況について報告します。

## 2 体制及びその変更

### 1) 評議員

#### 2015 年度評議員

- ・石川 明 (株)日立ソリューションズ
- ・出田 健二 (株)まちづくり三鷹
- ・及川 喜之 (株)セールスフォース・ドットコム
- ・大場 寧子 (株)万葉
- ・後藤 裕蔵 (株)ネットワーク応用通信研究所
- ・最首 英裕 (株)グルーブノーツ
- ・立久井 正和 (株)インターネットイニシアティブ
- ・中島 宏 (株)DTS
- ・羽田 昭裕 日本ユニシス(株)
- ・平松 知江子 (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
- ・森 正弥 楽天(株)
- ・吉岡 宏 (株)テクノプロジェクト
- ・吉田 正敏 富士通(株)

### 2) 理事

- ・代表理事 理事長 松本 行弘
- ・副理事長 井上 浩
- ・理事 山根 泉  
橋本 明彦  
田中 和明  
笹田 耕一

### 3) 監事、顧問及び事務局

- ・監 事 今岡 正一（公認会計士）
- ・顧 問 松浦 正敬 松江市長、溝口 善兵衛 島根県知事

- ・事務局 前田修吾（事務局長）が事務局業務全般を統括し、常勤スタッフ 2 名の他、松江市、島根県による人的支援によって運営しました。その他、事例収集のため外部のライターと、規格文書の保守および改訂の作業のため外部の専門家と契約を行っています。

#### 4) 評議員選定委員会

- ・委員長 立久井 正和（評議員）
- ・委員 今岡 正一（監事）、横田 早百合（事務局員）、田代 秀一（外部委員）、高橋 征義（外部委員）

### 3 実施事業

#### 1) 公募型開発支援プロジェクト

Ruby 及び周辺環境の改善を目的に Ruby 処理系、ライブラリ及びフレームワークに関連する開発プロジェクト（既存のソフトウェアを改良するプロジェクトを含む）を公募し、グラント委員会で選考の結果、以下 3 件のプロジェクトを採択しました。

いずれも 2016 年 3 月 31 日に開発を終え、その成果を公開しました。

- ・応募件数：8 件（国内 4 件）
- ・採択件数：3 件

①採択者：斎藤 ただし	プロジェクト：CRuby組み込みライブラリ Rationalの最適化
CRuby の Rational 実装を最適化し、全面的な速度の向上を目指します。上流へのマージを目指し、それが可能であるパッチを作成します。	
②採択者：Victor Shepelev	プロジェクト：reality gem
Reality provides easy access to "common" world knowledge (like geography, currencies, movies, historical events and people, weather and so on). It utilizes multiple open data sources, like Wikipedia, OpenStreetMap, TheMovieDatabase, and presents consistent, integrated approach to various aspects of data.	
③ 採 択 者 : Sameer Deshmukh	プロジェクト：FFTW and GSL extensions for NMatrix
NMatrix is a dense and spare matrix linear algebra library for ruby by SciRuby. It supports an extensions interface that allows interfacing of various high speed C libraries with nmatrix data types by creating new gems that bind these libraries (like BLAS or LAPACK). Extensions like nmatrix-lapacke are already in existence.	
This project will aim to create two new extensions for nmatrix. One for interfacing nmatrix with FFTW (Fastest Fourier Transform in the West) and another for interfacing with GSL (GNU Scientific Library). Both these extensions will be released as nmatrix-fftw and nmatrix-gsl gems respectively by the end of the grant term.	

## 2) Ruby安定版保守事業

ユーザーが安心して Ruby を利用できる環境を構築するため、Ruby 安定版の保守事業を実施しています。事業仕様策定後に業務を外部機関に委託することとし、委託先の選定に際し公募を行った結果、昨年度に引き続き中村宇作様を委託先に決定しました。委託期間は 2016 年 3 月 31 日までです。また 2015 年度も引き続き、アメリカの非営利組織である Ruby Central より本事業に対して助成金の交付を受けました。

## 3) Rubyに関する情報発信事業

### (1) Webでの情報発信

協賛会員をはじめ、Ruby をビジネス利用する企業に利用事例作成編集の担当スタッフが当該企業担当者に直接面談し、概要情報と詳細情報の作成を行いました。これらの情報は、利用時の背景事情、適用されたビジネス・システム分野やその特性など、利用企業のみならずエンドユーザ(企業や個人の場合あり)の損益にも深く関わる場合があることから、公開前に利用企業等による内容確認を実施し(その際にエンドユーザに了解を得ることもあった)、関係者合意の上で財団ホームページに掲載しました。2015 年度は新たに 8 件の利用事例を紹介しました。

2015 年度 新規掲載企業	テーマ
株式会社日立ソリューションズ	コマンドラインツールを Ruby でクラウド化
株式会社日立ソリューションズ	メインフレームのマイグレーション。レガシー資産を活かしつつ、オンラインを使いやすく
Sansan 株式会社	名刺管理サービス「Eight」のサービスプラットフォームに Ruby を採用
株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ	フィールドワークとワークショップのためのツール
株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ	インシデント管理「サービスデスクシステム」
株式会社モンスター・ラボ	「暮らしの新しい市場をつくる」ユーザーのライフスタイルに根ざした新規サービスを Ruby で開発
株式会社ウィルウェイ	社内リーンスタートアッププロジェクトを Ruby で推進
株式会社パソナテック	「はたらく」をもっと自由に。時間や場所にとらわれない自由な働き方を Ruby で実現

### (2) RubyWorld Conference 2015 の開催

RubyWorld Confernece 開催実行委員会の構成団体として参加しています。

### (3) Ruby ビジネスセミナー

当財団の単独主催、又は関係機関との共催、協力を得てビジネスセミナーを開催致しました。これらのセミナーでは、Rubyの利用状況と今後のビジネストレンドをはじめ、開発現場で必要とされる技術情報など、開催地の状況に応じた話題提供をすることで参加者のニーズに合わせたセミナー機会を提供しました。また、セミナー後の質疑応答やセミナー後の意見交換の場など、Web上だけではなく「リアルなビジネス交流」の機会を提供しました。

各セミナーでは参加者にアンケートを実施し、情報発信事業に対する評価と当財団への要望も意見集約し、今後の事業内容の検討にも活用しています。

開催時期、会場	開催テーマ	来場者数 (名)
2015年6月、東京	Rails 以外での Ruby を考える	60名
2015年9月、松江	ビジネスセミナー 広報活動を学ぶ	11名
2016年1月、大阪	IoT とワークライフバランス	51名
2016年2月、東京	Ruby Business Users Conference	78名
2016年3月、広島	Hiroshima Ruby Conference	50名

#### (4) ジョブボード

Rubyの求人情報を掲載できるジョブボードを開始しました。Rubyアソシエーションの協賛会員を中心としたRubyの求人情報を掲載しております。(非会員企業も求人掲載可能)

#### 4) Ruby技術者認定試験事業

2015年度はversion2.1向けの試験参考書を充実させより受験者が効率的に学習できるようになりました。また学生向けの学割制度を導入するなど若年層の金銭負担を減らし受験しやすい環境を目指しました。

認定者は、Ruby技術者としての技術力を公正に評価され、高い水準のRubyによるシステム開発能力を持つことを認定されます。認定によりRubyベースでシステム開発を行ううえで必要な基礎的な知識と応用力をもつことをアピールすることができます。

試験の合格者は、当財団が「Ruby Association Certified Ruby Programmer」として認定します。現在は、国内(試験区分：Silver、Gold)、海外(試験区分：Silver)で実施しており、2012年10月より当財団が直営実施(CBT受験環境、オペレーションはプロメトリック社に委託)しており、安心して受験いただける環境を提供しています。

#### 5) 事業者認定事業

従来から実施している認定システムインテグレータプログラム(Rubyの高い技術力を持った企業を認定)に加えて、2012年10月から認定教育機関プログラム(Rubyの教育をおこなう高い技術を持った企業を認定)、認定サポート事業者プログラム(Rubyのサポートサービスを提供する高い技術を持った企業を認定)、及び認定クラウドサービス事業者プログラム(Rubyアプリケーションの運用に適したクラウドサービス(IaaS、PaaS)をおこなう高い技術を持った企業を認定)の各プログラムを実施しています。2016年1

月 27 日時点での認定企業数は以下のとおりです。

認定種別	Gold	Silver
認定システムインテグレータプログラム	27(21)	66(67)
認定教育機関プログラム	3(3)	1(0)
認定サポート事業者プログラム	2(2)	—
認定クラウドサービス事業者プログラム	3(3)	1(1)

※( )内は前年度数

## 6) 協賛会員事業

### ・会員資格

法人、任意団体及び個人

### ・会員種別、会費

年会費 1 口 10 万円 (4 月を開始月とします)

①Platinum Sponsor 5 口以上 (50 万円以上)

②Gold Sponsor 2 口以上 (20 万円以上)

③Silver Sponsor 1 口以上 (10 万円以上)

2016 年 1 月 27 日時点での協賛会員数は、以下のとおりです。

Platinum : 年間 5 口以上	Gold : 年間 2 口以上	Silver : 年間 1 口以上
13(11)	18(21)	49(45)

※( )内は前年度数